

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 11 月 2 日 (2006.11.2)

【公表番号】特表 2005-537889 (P2005-537889A)

【公表日】平成 17 年 12 月 15 日 (2005.12.15)

【年通号数】公開・登録公報 2005-049

【出願番号】特願 2004-536144 (P2004-536144)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/145 (2006.01)

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

G 0 1 N 33/66 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/14 3 1 0

A 6 1 B 5/00 D

A 6 1 B 5/00 G

G 0 1 N 33/66 D

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 9 月 11 日 (2006.9.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

患者の体調を監視する装置であって、
前記患者について選択された医療データレベルを測定する読取り装置と、
複数の医療データレベルを、それらが取得された各日時と併せて格納するメモリデバイスと、

アナウンサータと、

ユーザ入力デバイスと、

前記読取り装置、前記メモリデバイス、前記アナウンサータ、および前記ユーザ入力デバイスに接続された処理デバイスであって、前記メモリデバイスに格納された医療データレベルから選択される少なくとも第 1 の医療データレベルおよび第 2 の医療データレベルから平均医療データレベルを計算し、前記アナウンサータを介して前記平均医療データレベルを報知し、前記ユーザ入力デバイスから前記第 1 の医療データレベルを報知させる第 1 のユーザ入力を受け取り、前記第 1 のユーザ入力に応答して前記第 1 の医療データレベルを報知し、前記ユーザ入力デバイスから前記第 2 の医療データレベルを報知させる第 2 のユーザ入力を受け取り、前記第 2 のユーザ入力に応答して前記第 2 の医療データレベルを報知するようにプログラム可能な処理デバイスと

を備えたことを特徴とする装置。

【請求項 2】

前記アナウンサータは、ディスプレイデバイスおよびスピーカのうちの少なくとも 1 つであり、前記処理デバイスは、前記ディスプレイデバイス上で表示すること、および前記スピーカを介して可聴音を生成することのうちの 1 つによって報知するように動作可能である

ことを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記医療データレベルは、血中グルコースレベルであり、前記装置は、血中グルコースメータである

ことを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

前記処理デバイスは、さらに、前記ユーザ入力デバイスを介してデータ値を報知させる第 3 ユーザ入力を受け取って前記平均医療データレベルを報知するようにプログラム可能である

ことを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 5】

前記処理デバイスは、 n 個の前記格納済み医療データレベルを使用して平均医療データレベルを計算するようにプログラム可能であり、 n は、2 よりも大きい整数であり、前記 n 個の格納済み医療データレベルは、前記第 1 の医療データレベルと前記第 2 の医療データレベルとを含む

ことを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 6】

前記処理デバイスは、前記 n 個の格納済み医療データレベル間の変動性を示す変動指標を判定し、前記アナンシエータを介して前記変動指標を報知するようにプログラム可能である

ことを特徴とする請求項 5 に記載の装置。

【請求項 7】

前記変動指標は、スカラ値、および標準偏差と分散係数とから成る群から選択される統計パラメータのうちの、少なくとも 1 つである

ことを特徴とする請求項 6 に記載の装置。

【請求項 8】

前記 n 個の格納済み医療データレベルは、平均医療データレベルの構成値と見なされ、前記処理デバイスは、さらに、前記ユーザ入力デバイスを介して、前記第 1 の医療データレベルおよび前記第 2 の医療データレベルの後に前記 n 個の医療データレベルの中から次の医療データレベルを報知させるさらなるユーザ入力を受け取って前記さらなるユーザ入力に応答して前記次の医療データレベルを報知し、前記構成値それぞれが前記アナンシエータを介して報知されるまで、前記 n 個の医療データレベルの中から次の医療データレベルを報知させるさらなるユーザ入力を受け取って前記次の医療データレベルを報知する動作を繰り返すようにプログラム可能である

ことを特徴とする請求項 5 に記載の装置。

【請求項 9】

前記処理デバイスは、さらに、前記構成値のうちの最後の医療データレベルが報知された後に前記平均医療データレベルを報知するようにプログラム可能である

ことを特徴とする請求項 8 に記載の装置。

【請求項 10】

前記アナンシエータは、ディスプレイ画面であり、前記平均医療データレベルおよび前記構成値は、前記ディスプレイ画面上に表示され、前記ディスプレイ画面は、前記平均医療データレベルおよび前記構成値のうちの 1 つを表示する第 1 の領域と、前記 n 個の医療データレベルそれぞれに対応する n 個のインジケータを備える

ように構成された第 2 の領域とを含むことを特徴とする請求項 5 に記載の装置。

【請求項 11】

前記処理デバイスは、前記第 1 の領域が前記平均医療データレベルを表示しているときに、前記 n 個のインジケータそれぞれを非点灯アイテムとして表示し、前記 n 個の医療データレベルのうちの 1 つが構成値の 1 つとして表示されているときに、前記 n 個のインジケータのうちその医療データレベルに対応するものを点灯させるようにプログラム可能である

ことを特徴とする請求項 10 に記載の装置。

【請求項 1 2】

前記ディスプレイ画面は、日時を表示する第 3 領域を含んでおり、前記処理デバイスは、さらに、前記 n 個の格納済み医療データレベルのうちの 1 つが構成値として前記第 1 の領域に表示されているときに、その医療データレベルとともに格納された対応する日時を前記第 3 領域に表示するようにプログラム可能である

ことを特徴とする請求項 1 0 に記載の装置。

【請求項 1 3】

前記処理デバイスは、前記平均医療データレベルの判定に使用される格納済み医療データレベルを、その医療データレベルが取得された日時に基づいて選択するようにプログラム可能である

ことを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 1 4】

前記処理デバイスは、選択された日数のそれぞれの日において前記平均医療データレベルが望まれる、1 日のうちのある時間帯を、ユーザが前記ユーザ入力デバイスを介して規定できるようなプロンプトを、前記アナライザを介して生成するように動作可能である

ことを特徴とする請求項 1 3 に記載の装置。

【請求項 1 5】

前記選択された日数は、3 日である

ことを特徴とする請求項 1 4 に記載の装置。

【請求項 1 6】

前記処理デバイスは、さらに、その日から始まる選択された日数にわたる前記時間帯の平均医療データレベルを要求するユーザ入力を受け取り、その日に既に前記時間帯に入っているか、または前記時間帯が過ぎているかどうか判定し、その日に既に前記時間帯に入っているか、または前記時間帯が過ぎていた場合、前記平均医療データレベルを判定するときに、その日の前記時間帯に取得された医療データレベルの読み値を使用し、その日にまだ前記時間帯がきていない場合、前記平均医療データを判定するときに、その前日に取得された格納済み医療データレベルを選択するようにプログラム可能である

ことを特徴とする請求項 1 4 に記載の装置。

【請求項 1 7】

前記処理デバイスは、その日の前記時間帯に取得された複数の読み値の最初のものおよび最新のもののうちの 1 つをそれらの各時刻に基づいて選択するようにプログラム可能である

ことを特徴とする請求項 1 6 に記載の装置。

【請求項 1 8】

前記処理デバイスは、その前日の前記時間帯に取得された複数の読み値の最初のものおよび最新のもののうちの 1 つをそれらの各時刻に基づいて選択するようにプログラム可能である

ことを特徴とする請求項 1 6 に記載の装置。

【請求項 1 9】

前記処理デバイスは、その日の前記時間帯に得られた利用できる有効な医療データレベルがない場合、その前日に得られた格納済み医療データレベルを使用し、さらに、前日に取得された格納済み医療データレベルを選択するときには、その前日の前記時間帯に得られた利用できる有効な医療データレベルがない場合、そのさらに前の日に得られた格納済み医療データレベルを使用するようにプログラム可能である

ことを特徴とする請求項 1 6 に記載の装置。

【請求項 2 0】

前記処理デバイスは、その日に得られた利用できる有効な医療データレベルがない場合、それより前の選択された最大日数から得られた格納済み医療データレベルを使用するようにプログラム可能である

ことを特徴とする請求項 16 に記載の装置。

【請求項 21】

前記選択された最大日数は、5 日である

ことを特徴とする請求項 20 に記載の装置。

【請求項 22】

前記ユーザ入力デバイスは、報知された前記構成値間をそれぞれ前進および後退させてナビゲートするための前進および後退矢印キーを含む

ことを特徴とする請求項 1 に記載の装置。